

言葉の壁の、向こう側へ。



目次

はじめに	1
------	---

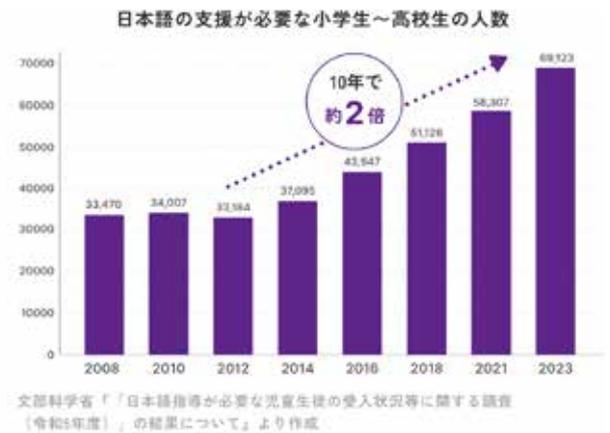
—各事業報告—

1. あだちプレスクール	2
2. はるみプレスクール	4
3. 芝園プレスクール	5
4. 蒲田母語・日本語教室	6
5. オンライン日本語クラス	8
6. 外国ルーツの住民支援団体ネットワーク	9
7. 外国にルーツをもつ子ども・若者支援者のスキルアップ研修	10
まとめ	12

認定 NPO 法人メタノイアとは？

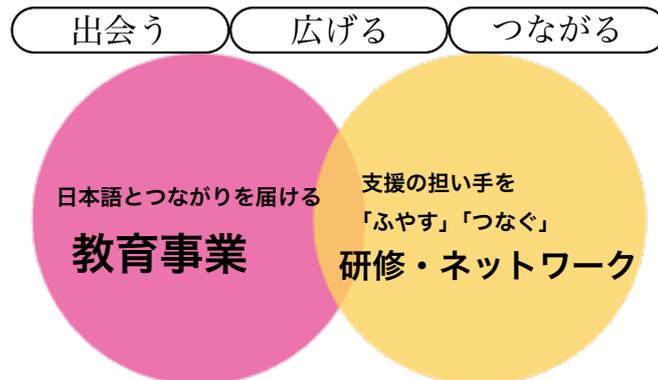
在留外国人数と比例して、年々増加する日本語の支援が必要な子どもたち。私たち認定 NPO 法人メタノイアは、外国にルーツをもつ子どもたちに日本語教育を届けることを主たる事業として活動している団体です。

東京都足立区、埼玉県川口市を中心に、年間 200 名以上の子どもたちと出会い、教育機会、つながりの場を届けています。



<ビジョン> 隔ての壁を越え、多様性を力として、すべての人が幸せを追求できる社会へ

<ミッション> 世界につながる子どもと社会をつなぐ



< WAM 助成事業としての取り組み（2022～2024 年度） >

- 「無園児」状態の子どもと出会う「プレスクール」
- 全国の学習機会を必要とする子どもたちと出会う「オンラインクラス」
- 母語とのつながりも必要とする子どもと出会う「母語・日本語教室」
- 支援者同士つながり、学びを深める「支援者研修」



2023 年度報告書



<https://metanoia.or.jp/news/report/240331.html>



2022 年度報告書



<https://metanoia.or.jp/news/report/240330.html>

1. あだちプレスクール

目的	言葉の壁で幼稚園・保育園に通いづらい外国にルーツをもつ幼児に対して日本語習得や集団生活の機会を提供することで、幼保園及び小学校へのスムーズな統合を後押しする。また、この実践をモデルケースとして進め、得た知見を国や自治体等の行政や他のNPO等と共有することでプレスクールの普及を促進し、多様な背景の子どもを包摂する地域社会づくりに寄与する。
内容	日本語教師による言語習得支援、保育士による育ちの支援等を通じて、外国にルーツをもつ幼児が無理なく通園や小学校入学のレディネスを養える環境を整備する。また、就学後にも引き続き支援を必要とする子どもの受け入れも行う。
対象	主として外国にルーツをもつ4歳～小学生 *幼稚園・保育園に通わない不就園児（＝無園児）や、来日して日が浅い小学生を含む。
担当	日本語教師・コーディネーター：日本語教師有資格者 スーパーバイザー：保育士・日本語教師有資格者
場所	認定NPO法人キッズドア 国際交流センター内（東京都足立区）
時期	通年 毎週月・金曜日 16:00-18:00 ※2024年5月までは月・水・金 〈全90回〉
人数	全登録者14人 / 1回あたり平均参加者 約5.3人

日常の様子

【1日の流れ（例）】

- ① 50音の歌
- ② 絵本「はらぺこへびくん」
- ③ 学習タイム
- ④ 製作「ぐるぐるへび」
十二支の話や、それぞれの干支の確認も交えながら、画用紙で渦を巻く蛇の製作。
- ⑤ ゲーム
小学生：「福笑い」
幼児：「動物取りゲーム」
(先生が言った干支のミニ人形を早く見つけて取るゲーム)
- ⑥ 絵本「でんしゃがとおりま〜す！」

1日の活動は、絵本の読み聞かせ、歌やおどり、劇、工作、学習タイムと、様々な内容を組み合わせて設計しています。

学習タイムは、それぞれの日本語の習熟度合いなどを踏まえた内容としています。
カルタや絵本を通じてひらがなの読みや言葉を覚えたり、ドリルなどの教材を用いて計算問題を解いたり。

季節の行事も取り入れながら、子どもたちが自然に日本語や日本の文化に触れることができるような工夫をしています。



スタッフの声



勝又 結衣 さん

認定 NPO 法人メタノイア
あだちプレスクール コーディネーター／日本語教師

あだちプレスクールの特徴は、幼児から小学生まで幅広い年齢の子どもたちが一緒に活動を行っていることです。

幼児さんは、小学生のお姉さんやお兄さんの真似をして学び、またお姉さんたちは、**共通言語である日本語**を使いながら、幼児さんの面倒をみてくれます。

「先生、今日は何つくる～？何をするの～？」

これは、子どもたちが来てすぐにしてくれる質問です。いい意味でプレスクールを「日本語を学ぶ場所」と捉えていません。

外国につながる子どもたちにとって、日本語は幸せな生活を送るために重要なものの一つですが、彼らが求めているのは、楽しいと感じる場所ではないかと日々感じます。

今後も、**好きな友だちや先生と楽しく遊んでいるけど、実はそれが日本語の学びにつながっている**、そんな活動を続け、広めていきたいです。

これからも、子どもたちと共に



2025年度以降、あだちプレスクールはメタノイアの常設拠点として2024年秋に開設した竹の塚駅前教室で開講を続けます。

幼稚園、保育園につながりづらい子どもたちと引き続き出会い、日本社会につながっていくための第一歩を踏み出せるよう、サポートしていきます。

また、小学校入学後も、子どもたちが安心して日々を過ごせるよう、学校でも家庭でもない「いつでも頼れる場」として温かく迎え入れ、継続的に支援を行います。

子どもたちがどのようなバックグラウンドをもっていても、無条件にありのまま受け入れてもらっていると実感できることは、確かな自己肯定感を育むために不可欠です。

多様なルーツを持っていることが不安や自信の喪失につながってしまうのではなく、自分自身をそのまま受け入れ、前を向いて歩いていけるように。私たちは、そのための土台づくりを支えています。加えて、子どもたちがどのような未来を歩んでいこうと尊厳が傷つけられることのない社会の実現を目指し、引き続き多様なステークホルダーの皆さまと連携してまいります。

2. はるみプレスクール

あだちプレスクールの姉妹校として、2024年6月よりスタート。あだちプレスクールでの活動を通じて、晴海地区に日本語の学習機会を求めの方々がいることが分かり、あだちプレスクールでの実践を通じて培った知見、ノウハウを活用し多数の子どもたちと出会うことができました。

対 象	主として外国にルーツをもつ4歳～7歳 ＊幼稚園・保育園に通わない不就園児（＝無園児）や、小学校低学年を含む。
担 当	日本語教師・コーディネーター：日本語教師有資格者 スーパーバイザー：保育士・日本語教師有資格者
場 所	晴海地域交流センター「はるみらい」（東京都中央区晴海）
時 期	通年 水曜日 16:00-18:00 〈全28回〉
人 数	全登録者14人 / 1回あたり平均参加者 約7.7人

スタッフの声



大津 真理子さん

認定NPO法人メタノイア はるみプレスクール 日本語教師

晴海地区に日本語に困っている子どもたちがいると聞き、昨年6月に「はるみプレスクール」をスタートさせました。毎週水曜日に年少から小2まで、10人ほどが参加しています。

この地域では、急増している外国ルーツの子どもたちへの日本語支援は不十分なようで、「こんにちは」しか言えない子が何人もいました。

小2のYは、初日に不安な顔つきで教室の隅に座り込んでしまいました。来日してから精神的に不安定になっているということでした。（翌週には、自分らしさを発揮していましたが）

母語で話せる友達がいる、歌、絵本の読み聞かせ、ゲーム、工作などを通して日本語を学ぶ楽しい場所なのだと思います。16時開始ですが、早く来る子もいて慌てることがあります。

子どもたちに「先生はもう必要ないよ」と言われるまで、寄り添い、伴走し続けたいです。



3. 芝園プレスクール

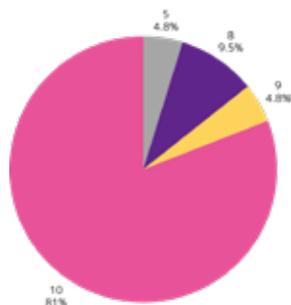
2024年度より、中国をはじめ、外国にルーツをもつ方が多く暮らす埼玉県川口市の芝園団地にてプレスクールを開講しました。開講にあたって、障害のある方々向けに就労継続支援B型事業を展開している地元のNPO法人から場所を提供してもらするなど、地域の輪に加わる形で展開することができました。

- 対 象 主として外国にルーツをもつ4歳～7歳
*幼稚園・保育園に通わない不就園児(=無園児)や、小学1年生を含む。
- 担 当 日本語教師・コーディネーター：日本語教師有資格者
スーパーバイザー：保育士・日本語教師有資格者
- 場 所 NPO法人ヒールアップハウス「晴れ晴れ」(埼玉県川口市芝園町)
- 時 期 通年 毎週木曜日 16:00-18:00 <全41回>
- 人 数 全登録者16人 / 1回あたり平均参加者 約4.4人



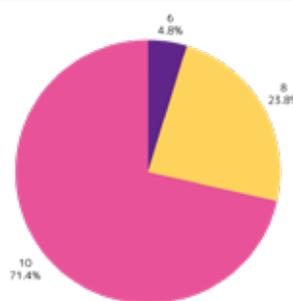
プレスクールで学習した子どもたち・保護者の声

メタノアの教室を周りにすすめたいですか？



約95%が「すすめたい・とてもすすめたい」と回答

プレスクールで勉強したおかげで、自信をもって日本の小学校に入学／幼稚園に通えると感じますか？



約95%が「そう感じる・とてもそう感じる」と回答

楽しい雰囲気、リラックスして勉強ができます

先生が熱心で優しいため子どもが行くのが楽しそうです

先生方はとても親切で、カリキュラムの設計も素晴らしいです。学習と遊びが組み合わされていて、子どももとても楽しんでます。

お話をしたり、絵本を読んだり、ゲームをしたりなど、色々できるところが良いです。

4. 蒲田 母語教室 / 日本語教室

目的	英語を母語／学習言語とする小・中学生を対象に、英語のブラッシュアップ、補習的な学力向上等の機会を提供することで、高校以降の進学意欲を育み、自己実現を後押しする。 さらに言葉の壁による孤独・孤立を予防しつつ自尊心・アイデンティティを涵養するコミュニティの役割も果たす。
内容	前半は英会話と英語による教科学習支援、後半は日本語学習や宿題支援を行う。 英語や日本語の講師だけでなく、外国ルーツ当事者や帰国子女の大学生等もボランティアとして招き、同様の立場で生きてきた先輩と関わりをもつきっかけ作りとする。
場所	mics おおた（東京都大田区蒲田）
時期	通年 毎週土曜日 17:30-19:30 〈全45回〉
人数	全登録者25人 / 1回あたり平均参加者 約9.1人



担当コーディネーターより



矢作 菜月さん

認定 NPO 法人メタノイア 蒲田母語・日本語教室 コーディネーター

約2年間、大田区にある蒲田にて English club と日本語教室を行ってきました。

蒲田教室では、子どもの日本語支援のみならず、母語継承教育としての English club を実施してきました。近年、子どもの日本語支援という動きはメタノイアや他の団体でも取り組まれている事業の一つかとは思いますが、**母語継承に焦点を当てた教室作りというのは新たな取り組みの一つだったのではないかと思います。**蒲田教室に通っている子どもたちは、ネパールやフィリピンルーツを持った子どもが中心であり、母国で英語教育を受けていた子どもや家庭内言語が英語、日本でもインターナショナルスクールに通っている子どもたちなど、英語に触れて生活をしている子どもたちが半数以上います。そのため、そのような子どもたちにとって、重要な場であったと感じております。

教室の活動が継続するにつれ、保護者、日本語支援に携わってくださったボランティアの先生方のコミュニケーションが密になっていく様子が伺えました。

今後、蒲田教室が終わった後も子どもに日本語を教えてくれるように保護者がボランティアの先生にアプローチする姿や、ボランティアの先生も「何かできることがあればやりましょう」と保護者に提案する姿など、互いに繋がりを持ち続ける姿が見られています。

メタノイアの事業をきっかけに築かれていく繋がりを見て、蒲田教室の存在意義が見出された気がして、コーディネーターとして非常に嬉しい気持ちになりました。



Ong Wai Meng さん

認定 NPO 法人メタノイア 蒲田母語教室 英語講師

—英語クラブを実施する上で工夫していることはありますか？

As a club, I try not to just repeat what schools will already be doing - instead, activities are more game-oriented and small talk is always encouraged. But of course, I also try not to stray too far from the objective, so worksheets are still a part of club activities when required.

クラスを展開していく中で、学校で既に行われていることを単に繰り返すのではなく、むしろゲーム中心の活動や雑談を常に心がけています。もちろん、目的から逸れることがないように努めているため、必要に応じてワークシートを使ってクラスを展開しています。

—クラブに参加する子どもたちの様子を教えてください。

It always motivates me to see that some kids enjoy being at the club, and will take the initiative to start conversations. With the age gap between students, it is a little challenging to balance the difficulty of the activities, but I believe there was a good enough balance for most of the sessions.

I believe that the objective of maintaining their English usage was met, but I can see slight improvements in one or two of the students too, which I am glad to see. There were also some students that were unable to motivate themselves to participate, which is also fair. But I could have done more to try and keep them engaged.

子どもたちがクラブで楽しんでいる姿や、率先して会話を始めてくれる姿を見ると、いつもやる気が湧いてきます。子どもの年齢差があるため、アクティビティの難易度のバランスを取るのは少し難しいですが、ある程度のバランスが取れたクラスを展開することができていたと思います。英語を使うという目標は達成することができたと思いますが、1、2人の子どもに進歩も見られ、うれしかったです。一方で、当然ながら、参加する意欲が湧かなかった子どももいましたが、そのような子どもたちの関心が高まるように努めることができたのではないかと反省しています。

—このような母語継承といった事業は大切だと思いますか？

I definitely think there is always value in learning more than one language (even if it's not English!), especially when you are still young. Being able to communicate with language means opportunities to create unique experiences and memories that would not be possible otherwise. And it keeps our brains active as well.

英語でなくても、複数の言語を学ぶことは、特に若いうちは必ず価値があると思います。言語でコミュニケーションできるということは、他の方法では得られないユニークな経験や思い出を作る機会があると思います。また、脳の活性化にもつながると思います。

—皆さんにメッセージをお願いします。

Thank you so much for providing me with the opportunity to be part of this experience. I'm so happy to be part of a group that cares for the well-being and growth of people.

この経験に参加する機会を与えてくださり、本当にありがとうございます。幸せと成長を大切にする団体の一員になれてとても幸せです。

メタノイアとしての母語教室・日本語教室を開催が、英語・日本語の学習機会を必要とする子どもたちと日本社会の様々な大人たちとがつながるきっかけになりました。地域社会で互いに支え合う支援のネットワークが自発的に生み出されていったことは、事業実施による大きな成果であると捉えています。



5. オンライン日本語クラス

目的	オンラインツールを活用して外国ルーツの子どもの日本語教育を個別最適化する。 日本語教室が自宅から遠すぎて通えない学習希望者や、週1回程度の対面の日本語教室では十分ではなく集中レッスンが必要な日本語初学者など、多様な学びのニーズに応じて柔軟にレッスンを行うことで支援機会の拡充を図り、言葉の壁をこえて誰も取り残さない社会の実現に寄与する。
内容	日本語学習を必要とする学習者と日本語教師をコーディネーターがマッチングし、 1クラス6人までの少人数で、オンライン日本語レッスンを行う。 なお、授業料を徴収するが、生活困窮世帯の子どもにはスカラシップとして授業料の減免を行う。
対象	外国にルーツをもつ幼稚園年中児～中学生、および保護者等の成人
担当	日本語教師・コーディネーター：日本語教師有資格者
時期	通年 毎週月～金曜日 18:00-19:45 *左記を中心に柔軟に調整 〈全222日〉
人数	全登録者63人 / 1日あたり平均参加者 約8.5人

スタッフの声



矢口 奈緒子さん

認定 NPO 法人メタノイア オンライン日本語クラス コーディネーター

私たちのオンラインクラスでは、公立校やインターナショナルスクールに通うなど、さまざまな背景を持つ子どもたちが参加し、日本語を学んでいます。

多様な文化を持つ仲間と共に学ぶことで、互いに理解を深める場ともなっています。また基本的に固定のクラスで運営しているため、先生との信頼関係を築きながら、その子に合った日本語の支援を行っています。今年度は、高校受験を控えた学習者2名への試験対策を含むサポートも実施しました。

学習面だけでなく、季節の行事や自由に先生や他のクラスの子と会話ができる「おしゃべりタイム」を設け、子どもたちにとって安心できる「居場所」となることを目指しています。

今後もオンラインの強みを活かし、より多くの日本語学習を必要とする子どもたちを支援していくと共に、直接対面することがなくても、子どもたちに寄り添い、成長を支える場を提供していきます。

\\ 学習者随時募集中! //

時間帯やレベル、使用する教材などは全て子どもの日本語教育に詳しいコーディネーターおよび講師と相談して個別に決定していきます。身近に対象となりそうな学習希望者がいらした場合は、ぜひご本人や保護者にご紹介ください。

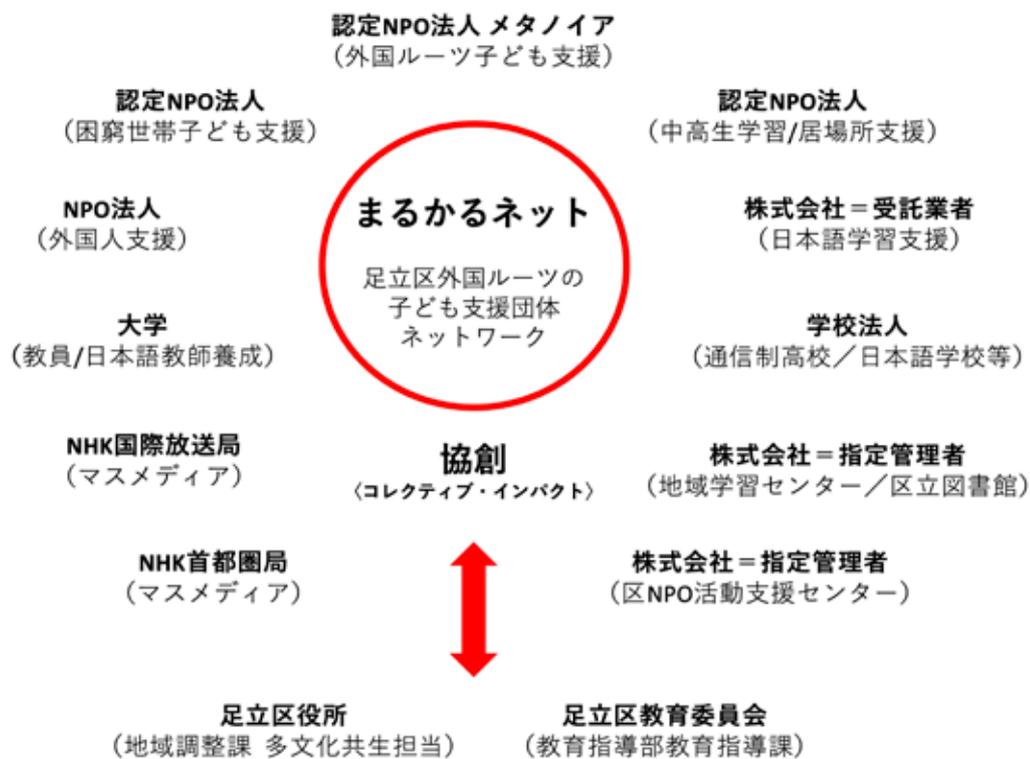
お申し込みはこちら



6. 外国ルーツの住民支援団体ネットワーク

まるかるネット（東京都足立区 地域支援者ネットワーク）

本事業で実施した「あだちプレスクール」が拠点をおく東京都足立区では、外国にルーツをもつ子どもの支援に関係する官民入り混じった多様な担い手で構成する「まるかるネット」（下図）を構築しています。隔月の定例会で情報や意見の交換をするほか、区内大学の授業での講演活動や、ワーキンググループを構成して区への政策提言をする活動も行っています。民間支援団体、行政、企業が一体となり、外国ルーツの子どもが平等に学べる地域社会づくりを「協創」するため、手を携えています。



本事業年度においては、区内 NPO と足立区役所（地域調整課多文化共生担当）が共に、都内の他区で行われている外国ルーツの子どもの日本語教育および相談等の先進事例を視察しました。当該事例は都と区の連携事業であり、足立区でも同様の事業を展開できないか、官民が共に知恵を出し合いながらその方法を模索しています。政策提言に留まらず、NPO が自治体と一体となって課題解決に向けて手を取り合う事例になることを期待しています。

2025 年度からは、区教育委員会が運営する初期日本語教室の運営者と、地域で支援する NPO 等事業者、そして学校の教員らが一堂に会して定期的に情報や意見を交換する連絡会をスタートさせる予定です。足立区立の小中学校には、日本語のサポートが必要な児童生徒が 460 人以上在籍しているとされています。地域の多様な機関がそれぞれ自分たちの力を出し合い、その子どもたちにとって最善の学びの環境を「協創」する歩みが進んでいます。

7. 外国にルーツをもつ子ども・若者支援者のスキルアップ研修

外国にルーツを持つ子ども・若者支援者のスキルアップ研修Vol.2 —安心安全な場づくりのために—<全4回>

- ①2/14(金) 下地ローレンス吉孝さん/社会学者
[マイクロアグレッションの実態と必要な支援のあり方]
- ②2/21(金) 市川ヴィヴェカさん/研究者・カウンセラー
[多様なルーツをもつ子どもたちのウェルネスの課題]
- ③2/26(水) 清長豊さん/NPO法人アジャスト代表
[上手くて、ダメな支援 下手だけど、イイ支援
～専門家じゃなくてもできる大切な実践～]
- ④3/5(水) 清長摩知子さん/公認心理師・NPO法人アジャスト
[短期の成果を目指す支援、長期の成長を目指す支援
～外国につながり発達特性を持つ子ども達への実践～]



目 的	本事業に携わる支援者のほか、外部からも広く参加者を募り、外国ルーツの子ども支援に関心を持つ支援者のネットワークを広げる。孤立しがちと言われるオンライン日本語教師や地方の地域日本語教室等の教師がつながり合うことで、スキルとモチベーションの向上を図り、「みんなで」広く課題解決を目指す協力の輪を築くことを目的とする。
内 容	右記の4名の専門家による講演を聴き、質疑応答や対話を行うオンライン研修会。リアルタイムで参加する方法のほか、事後配信される録画映像の視聴も可。
対 象	外国にルーツをもつ子どもの支援に関心がある方を中心に広く一般
ツール	Zoom ミーティングルーム（事後配信：YouTube）
時 期	2025年2月～3月（リアルタイム配信） ＊事後配信は視聴申込み期限なし
人 数	649名（2025年3月21日時点までの申込人数）

右記の専門家による講演の録画映像は、お申込みいただければいつでもご視聴いただくことができます。また、昨年度実施したスキルアップ研修の動画も合わせて視聴可能です。

右のQRコードまたは下記のURLから、リンク先のページ（Peatix）を開き、「チケットを申し込む」ボタンを押してお申込みください（無料）。

申込み ▶ <https://metanoia2024seminar.peatix.com/>



第1回 マイクロアグレッションの実態と必要な支援のあり方

第2回 多様なルーツをもつ子どもたちの心理的安全性とメンタルヘルス

〈講演者〉 社会学者 下地ローレンス吉孝さん
 研究者・カウンセラー 市川ヴィヴェカさん

前半の2回は、講演者のお二方によって2024年に実施された「日本において複数の民族・人種にルーツがある人々についてのアンケート調査」により可視化されたマイクロアグレッションの実態や、外国にルーツをもつ若者のメンタルヘルスに関するお話をうかがい、支援者として取れる行動について考えました。

外国にルーツを持つ人々が日常的に受ける、無意識の偏見に基づいた言動が、自己肯定感の低下やメンタルヘルスの悪化につながることを具体的なアンケート結果や事例とともに紹介いただきました。「千の切り傷による死」とも呼ばれる、幾度となく繰り返されるマイクロアグレッションによる傷つきの実態を踏まえ、支援者としてはどのように心理的安全性の高い環境づくりができるか、いかに当事者の声を尊重していけるか、たくさんのヒントをいただきました。

マイクロアグレッションを経験した人の割合	98%
よくマイクロアグレッションを経験する人	68%
「日本人の否定」「エネジックなモノ化」「プライバシーの侵害」	60%超

メンタルヘルス不調の割合…全国に比べ	5倍
自傷・自殺未遂の割合…全国に比べ	2倍
孤立を経験する割合…全国に比べ	3倍
先生や上司にサポートされた割合	90%
ルーツについて安心して話せる割合	先生 4% 親や保護者 48%

支援者間での配慮と共通理解

本人がいない場でも国籍や人種で子どもや家庭をラベル化しない。「〇〇人の子」「〇〇国の子」ではなく、名前を呼ぶ！

ステレオタイプや偏見に基づく決めつけを避ける。「〇〇国の子だからこうよね。」

多様な背景を持つロールモデルとの交流を促進する。「自分の背景がわかる」ように、多様な大人となつながら関係を築く！

習熟度の確保を優先しながら、適切な支援の可能性をもつ。「国籍・地域・専門機関の連携を強化」

第3回 上手くて、ダメな支援 下手だけど、イイ支援 ~ 専門家じゃなくてもできる大切な実践 ~

第4回 短期の成果を目指す支援、長期の成長を目指す支援

~ 外国につながり発達特性を持つ子ども達への実践 ~

〈講演者〉 NPO 法人アジャスト代表・公認心理師 清長豊さん
 同法人さくら教室代表・公認心理師 清長摩知子さん

後半の2回は、外国にルーツをもつ子どもと「発達障害」の視点から、NPO 法人アジャストで日々実践を重ねているお2人からお話を聞きました。

個別支援計画の重要性や文化的背景を考慮した支援、多様なコミュニケーション手段が重要との考えに基づき、子どものできる・できないのみに注目して判断しようとするのではなく、子ども自身がもつ特性や置かれた環境、その時々心理面、社会的側面など広範囲にわたって見渡し、本人にとってより適切な環境を調整していく視点を学びました。

また、具体的な人物を想定して、どのような視点で向き合い、サポートができ得るかを考えました。実践的な内容に、多くの参加者が共感し、今後の支援活動に活かせる有意義な機会となりました。

知識はあるけれど
 子どものできないに注目して、
 指導者は「子どもを判断」する

知識はないけれど
 子どもの全体に注目して、
 指導者は「やり方を試行錯誤」する

ユニバーサルデザイン

障害の有無・度合いに関わらずできるだけ多くの人が利用できるように

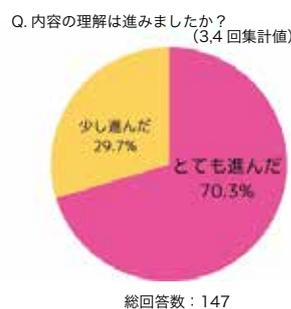
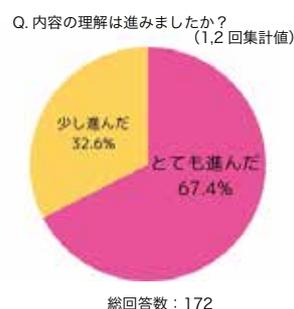
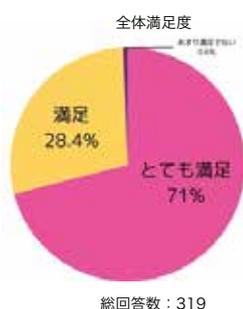
バーディション
 個別机
 ライト
 バランスチェア

精神医療の3つの柱

医師
 診断、検査

心理職
 分析、助言

周りの人
 環境調整



まとめ

全国7万人の子どもたちへ、多様な担い手とともに

新型コロナウイルス蔓延による入国制限が緩和されて以来、新規来日者は増加の一途を辿っています。そして、来日してから比較的時間もない日本語の初期的なサポートが必要とされる子どもは、全国7万人近くにのぼるとされています（文部科学省、2023年度調査）。

本助成をいただいた3年間、様々な地域で暮らすそのような子どもたちや家族に、ことばの育ちを支えるプログラムを届けてきました。会場として公共施設を借りることもありましたが、地元で「うちのスペースを使っていよいよ」と言って自団体の施設の一角を貸してくださる協力者とも多く出会うことができました。そして、たくさんのスタッフやボランティアさんとも。中には、当法人に代わって教室の生徒たちを地域で支え続けてくださる方も現れました。こうして支援の輪が広がっていったことは、本事業の大きな成果の一つと言えます。

「みんなでつくる、いっしょに生きる。」

プレスクールに参加する子どもの保護者から「この教室を毎日やってほしいです」と、何度もお願いをされてきました。私たちも、他団体の場をお借りして週に1-2回開くだけの教室で築ける子どもたちとの関係に、少し物足りなさを感じてきました。もっと深く関われば、この子たちの持っているものをもっと引き出せるのに……。そんな思いが募り、私たちはクラウドファンディングで寄付を集めて、毎日開ける教室を作ることにしました。「みんなでつくる、いっしょに生きる。」をキャッチフレーズに呼びかけ、大変多くの方々の支援を得ることができ、無事に東京都足立区と埼玉県川口市に2箇所、常設拠点を開くことができました。本助成事業の「あだちプレスクール」と「芝園プレスクール」は、助成終了後もその新拠点に場所を移し、継続的に実施していく予定です。

寄付する人、学ぶ子ども、教える先生、見守る家族。そんな人たち「みんな」が集まってはじめて温かな場ができあがります。本事業を通じて出会った仲間たちと、そうやって楽しく、いっしょに学び、生きていけたらと願っています。

“みんな”が通える教室のために

そんな教室（対面・オンライン双方）には、生活困窮世帯やひとり親世帯、難民申請者など、事情があって参加料を払うことができない子どもたちも通ってきています。私たちは、どんな立場の子どもにも等しく学びの機会が届けられるように、参加料が払えない家庭の子どもを対象とした減免（スカラシップ）制度を設けています。

その原資は、上記のクラウドファンディングだけでは足りず、個人の支援者様からの継続的なご寄付（マンスリーサポーターによる寄付）に頼っています。ひとり残らず「みんな」がつながれる教室の実現に向けて、本報告書をお読みの皆さまもどうか、ご参画いただけますと幸いです。

言葉の壁に阻まれつつもたくさん子どもたちに「あの壁の向こう側には、きっと温かい世界が広がっている。だから、いっしょに行こう」と伝え続けた3年間でした。そして、これからもずっと皆さんとごいっしょに、伝え続けていけたらと願います。



日本で孤立する難民・移民ルーツの子どもたち

毎日が **不安。**
未来に希望が持てない。

難民・移民ルーツの子どもたちの
未来を支える仲間になっていただけませんか？

▶ クレジットカード

〈マンスリーサポーター〉 毎月 1,000 円～（1 日約 33 円～）

〈今回のみの寄付〉 1 回 3,000 円～

上記いずれも、右の QR コードまたは下記 URL/ 検索ワードから当法人のウェブサイト
にアクセスして、さらに詳しくご確認くださいことができます。

◎ 認定 NPO 法人メタノイア 寄付ページ

◎ 「メタノイア 寄付」で検索していただいてもアクセスできます。



▶ 郵便振替(現金) / ゆうちょ銀行電信振替

本紙添付の郵便振替「払込取扱票」を使用して、郵便局の ATM にて現金でご寄付いただけます。
また、ゆうちょ銀行の電信振替（口座間送金）もご利用いただけます。

口座記号番号 **00150-6-768645** 口座加入者名 **特定非営利活動法人メタノイア**

*電信振替の場合は、通信文の欄に「寄付」とご記入ください。

*恐れ入りますが、手数料をご負担いただきますようお願いいたします。

▶ 銀行振込

〈今回のみの寄付〉の場合は、上記 QR コードまたは URL/ 検索ワードから、
お申込みを受付けております。銀行振込でのマンスリーサポーター登録をご希望の際は
別途ご相談ください。



最新情報はこちらから

ニュースレター（メール配信登録）

<https://metanoia.or.jp/donation/>



Facebook : [METANOIAorjp](https://www.facebook.com/METANOIAorjp)

X(Twitter) : [@METANOIAorjp](https://twitter.com/METANOIAorjp)



2024 年度「外国ルーツ住民のハイブリッド支援プラットフォーム構築事業」報告書

発行日 2025 年 3 月 31 日

発行者 特定非営利活動法人メタノイア

〒121-0822 東京都足立区西竹の塚 2-1-10 岡田ビル 3F 東

TEL 03-6773-5548 Email office@metanoia.or.jp WEB <https://metanoia.or.jp/>